

# 平成20年度第1回藤島地域審議会次第

平成20年5月29日(木) 午前9時30分  
藤島庁舎 大会議室 (3階)

1. 開 会

2. あいさつ

3. 会長、副会長の選出について

4. 説 明

(1) 地域の状況報告について

(2) 平成20年度予算の概要について

(3) 平成20年度の主な事業の概要について

(4) 事務事業調整の調整状況について

5. その他

6. 閉 会

# 平成20年度 鶴岡市藤島地域審議会委員名簿

平成20年5月29日

委員

敬称略、順不同

No.	氏名	所属団体名・役職等
1	数馬 昭一	藤島町内会長連絡協議会会長
2	齋藤 泰宏	庄内たがわ農業協同組合代表理事専務
3	上林 祐樹	庄内たがわ農業協同組合藤島支所生産組合長会副会長
4	板垣 吉徳	上新田農事組合法人代表
5	井上 馨	藤島認定農業者の会会長
6	小野木 覺	出羽商工会会長
7	阿部 正良	藤島地区民生児童委員協議会会長
8	石川 安彦	藤島中学校PTA会長
9	丸山 鎮	藤島体育協会会長
10	布川 久美子	藤島芸術文化振興会副会長
11	佐藤 尚己	藤島老人クラブ連合会会長
12	今野 多美子	藤島地域婦人会会長
13	齋藤 フミ	出羽商工会女性部藤島支部長
14	上林 節子	庄内たがわ農業協同組合藤島支所女性部長
15	神林 守	出羽商工会青年部長
16	阿部 清二	鶴岡市消防団藤島方面隊長
17	富樫 達喜	因幡堰土地改良区理事長
18	小玉 健	商店経営
19	石川 守	農業
20	上林 淳	農業

※任期:2年(平成20年2月1日～平成22年1月31日)

事務局

No.	氏名	所属名・役職等
1	深澤 一雄	鶴岡市藤島庁舎支所長
2	半澤 正昭	〃 次長兼総務課長
3	丸山 隆逸	〃 総務課総務地域振興主査
4	渡部 秀明	〃 総務課主任
		(鶴岡市本庁舎政策調整室)

## 地域審議会について

地域審議会は、旧市町村合併特例法第5条の4の規定に基づき、新鶴岡市が処理する旧市町村の区域に係る事務に関し市長の諮問に応じて審議などを行うために、旧市町村ごとに設置するものであります。

なお、同条では、地域審議会を組織する構成員の定数、任期などについては、合併関係市町村の協議により定めることとされており、新鶴岡市については、次のように協議して定められたところです。

### 1 所掌事務

- (1) 地域審議会は、合併に係る次の事項について、市長の諮問に応じて審議・答申する。
  - ・ 新市建設計画の変更に関する事項
  - ・ 新市建設計画の執行状況に関する事項
  - ・ その他市長が必要と認める事項
- (2) 必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

### 2 組織

- (1) 平成27年3月31日までの期間、旧市町村の区域を単位として設置いたします。
- (2) 地域審議会は、その区域に住所を有する20人以内の委員で組織され、委員は、
  - (ア) 公共的団体等を代表する者
  - (イ) 学識経験者

の区分のうちから市長が任命し、委員の任期は2年間となっております。

公共的団体等を代表する者については、

- |                |              |              |
|----------------|--------------|--------------|
| (1) 自治組織       | (2) 農林漁業団体   | (3) 商工観光団体   |
| (4) 福祉、医療団体    | (5) 学校教育関係団体 | (6) 社会教育関係団体 |
| (7) 老人、婦人、青年団体 | (8) 防災組織     | (9) NPO法人等   |

など、各地域における地域社会活動、経済、産業活動等の代表等、各界各層の代表者から就任いただき、幅広く地域課題の的確な把握や意見を聴くことができるよう、委員を選定いたしました。

平成17年10月1日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号）第5条の4第1項の規定に基づく地域審議会の設置を、次のとおり（鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村、西田川郡温海町）と協議して定めた。

鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町の廃置分合に伴う地域審議会の設置に関する協議書

平成17年10月1日から鶴岡市、東田川郡藤島町、同郡羽黒町、同郡櫛引町、同郡朝日村及び西田川郡温海町を廃し、その区域をもって新たに鶴岡市を設置することに伴い、市町村の合併の特例に関する法律（昭和40年法律第6号。以下「合併特例法」という。）第5条の4第1項の規定に基づく地域審議会の設置について、同条第2項の規定により下記のとおり定めるものとする。

記

（設置）

第1条 合併特例法第5条の4第1項の規定により、次の各号に掲げる区域を対象にして、当該各号に定める地域審議会（以下「審議会」という。）を置く。

- （1） 合併前の鶴岡市の区域 鶴岡地域審議会
- （2） 合併前の東田川郡藤島町の区域 藤島地域審議会
- （3） 合併前の東田川郡羽黒町の区域 羽黒地域審議会
- （4） 合併前の東田川郡櫛引町の区域 櫛引地域審議会
- （5） 合併前の東田川郡朝日村の区域 朝日地域審議会
- （6） 合併前の西田川郡温海町の区域 温海地域審議会

（設置期間）

第2条 審議会の設置期間は、平成17年10月1日から平成27年3月31日までとする。

(所掌事務)

第3条 審議会は、合併に係る次に掲げる事項について、市長の諮問に応じて審議し、答申するものとする。

- (1) 新市建設計画の変更に関する事項
- (2) 新市建設計画の執行状況に関する事項
- (3) その他市長が必要と認める事項

2 審議会は、必要と認める事項について、市長に意見を述べることができる。

(組織)

第4条 審議会は、第1条の区域（以下「区域」という。）ごとに委員20人以内で組織する。

2 委員は、区域に住所を有する者で次の各号に掲げるもののうちから、市長が任命する。

- (1) 公共的団体等を代表する者
- (2) 学識経験者

(任期及び失職)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員の再任は、妨げないものとする。

3 委員は、区域に住所を有しなくなったときは、その職を失う。

(会長及び副会長)

第6条 審議会に会長及び副会長1人を置き、委員の互選によって定める。

2 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 審議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集する。

2 会議は、委員の過半数が出席しなければ、開くことができない。

3 会議の議長は、会長が務める。

4 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の

決するところによる。

5 会議は、必要に応じ、委員以外の者を会議に出席させ、意見を求めることができる。

6 会議は、公開とする。ただし、議長が必要と認めるときは、会議に諮った上公開しないことができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、新たに設置される鶴岡市の区域ごとの担当部署において処理する。

(委任)

第9条 この協議に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、市長が別に定める。

附 則

この協議は、平成17年10月1日から施行する。

# 平成20年度 藤島地域行政等状況報告

(鶴岡市 藤島庁舎)

## 1. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 財政課契約管財室を契約管財課として独立設置
- 市民生活課危機管理室のうち防災業務の担当を危機管理課として独立設置

## 2. 火災の発生について

4月2日午後3時39分頃出火した、鶴岡市長沼字宮東176番地 大沼清志宅の火災は、木造平屋一部2階建瓦葺住宅延べ234㎡(1階190㎡、2階44㎡)のうち2階寝室13㎡焼損し、消防隊、消防団及び三川町消防団等の出場により午後4時31分鎮火しました。

## 3. 鶴岡市消防団結団式の実施について

鶴岡市消防団が新たに1消防団9方面隊体制でスタートするにあたり、平成20年4月6日(火)午後3時30分から鶴岡市中央公民館において、鶴岡市消防団結団式が実施されました。山形県議会議長、鶴岡警察署長、鶴岡市議会議長等多数の来賓を迎え、消防団部長以上幹部約300人により開催されました。

## 4. 有機農業モデルタウンの認定について

有機農業の推進に向け、今年度スタートした国の地域有機農業推進事業(有機農業モデルタウン)に、藤島地域を中心に組織する鶴岡市有機農業推進協議会が全国45カ所の一つに認定されました。今後5年間にわたって有機栽培についての実践者実態調査、適応した土づくりや除草・病害虫対策、新品種「山形97号」の実証調査などを展開し、有機農業技術の安定・向上、循環型社会の実現を図ります。

## 5. 緊急火災多発警報の発令について

鶴岡市では火災の多かった昨年に比べ、4月18日現在、同期比で14件増加している緊急事態となっております。特に、4月に入ってから12件の火災が発生しており、4月16日からは連続3日間発生し、羽黒地域では住宅2棟が全焼、林野火災では1名が焼死するという惨事となっているため、消防本部では火災多発警報を発令し警戒を呼びかけています。

藤島地域では、4月末までの間、消防団による防火広報、市広報車による広報を行なう予定です。

## 6. 敬老会の開催について

平成20年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月20日、26日、27日に開催しました。対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

単位：人

地 区	対象者	出席者	米 寿	喜 寿
藤 島	910	390	37	65
東 栄	402	192	10	36
八栄島	195	89	4	11
長 沼	258	117	12	21
渡 前	347	201	17	31
合 計	2,112	989	80	164

## 7. 上林恒平氏 県無形文化財保持者指定について

山形市在住で下蛸井出身の上林恒平氏が5月1日、県教育委員会より県無形文化財保持者に指定されるという栄誉に輝きました。上林氏は鶴岡工業高校を卒業後、昭和42年人間国宝・宮入行平刀匠(長野県)に入門、同48年に作刀承認を受け、以後「新作名刀展」に出品し、高松宮賞、文化庁長官賞等を受賞し、同60年より無鑑査となり、現代の刀匠界の重鎮として活躍されており、今回の指定となりました。また、5月24日から6月8日まで致道博物館において「刀匠・上林恒平作刀展」が開催されており、6月7日午後2時より上林氏による列品解説が予定されております。

## 8. 田川地区中学校駅伝競走大会 男女とも県大会出場について

田川地区中学校駅伝競走大会が5月13日(火)、小真木原総合運動公園周辺において開催されました。

今年度は、藤島中学校男女とも準優勝で9月に開催される県中学校駅伝大会への出場権を獲得しました。

## 9. ふじの花まつりの開催について

第17回ふじの花まつりを5月15日(木)から18日(日)まで、藤島体育館周辺を会場に開催しました。

ふじの花は、3月4月の高温の影響で近年になく早い開花となりましたが、ふじの鉢提供者の管理努力と出展協力により95鉢を展示することができました。4日間の開催期間中は好天に恵まれ、昨年より約2,000人増の約6,700人の来場者を迎えて盛会なふじの花盆栽展となり、地域外からも多く訪れました。菓子・農産物などの展示販売に、JA庄内たがわによる「はえぬき麺」の調理販売、鶴岡市各地域を代表する民芸品の展示などを加え、鶴岡の観光物産振興に貢献する企



画を行いました。

17日には「にしん焼き」による観藤会、18日には街なかのふじや街並みを巡るウォークラリーを行い、「ふじの里」づくりに寄与することもできました。

さらにふじの花まつりの充実を図るため、来場者に協力金をお願いし自主財源を作る取り組みを行った結果、103,786円の協力がありました。厚く感謝をしながら、次回の取り組みの充実発展を図るものであります。

#### 10. 仙台市立中野中学校の民泊と体験受入れについて

5月22日から23日まで、仙台市立中野中学校の2年生208名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。(同校は今年で7年連続の訪問となります)

22日は、鶴岡市須走地内の圃場で田植え体験をした後、藤島地域内の農家や一般家庭で民泊を体験。翌23日は、藁細工、そば打ち、笹巻きづくり、いづめこ人形づくり、絵蠟燭の絵付けなどを体験しました。

#### 11. 横浜市みどり共同保育所と戸塚みどり保育園の田植え交流会について

横浜市みどり共同保育所と戸塚みどり保育園の園児と父母、保育士34名が、5月24日(土)、25日(日)の日程で来鶴。両園の給食に採用されている当地域の「人と環境にやさしい農業実践者の会」の農家との田植え交流会を実施しました。

藤島地域での交流会は3年目で、今回は「藤島型特別栽培米」を給食に採用している40ほどの保育園の中から2つの園が参加し、鶴岡市野田目地内の圃場10aで田植えを行ない、9月には稲刈り交流会も予定されています。

# 平成19年度 藤島地域行政等状況報告

(鶴岡市 藤島庁舎)

## 1. 副市長の就任について

4月1日付けで、鶴岡市の副市長に前鶴岡市総務部長の佐藤智志氏（千石町・59歳）と、旧温海町長の佐藤正明氏（鼠ヶ関・59歳）が就任しました。この件は、3月23日の市議会3月議会において承認されました。

## 2. 行政組織機構の変更について

4月1日より市の組織機構が変わりました。

- 市長公室を廃止し、総務部総務課に秘書係、広報広聴係として統合
- 企画部を新設し、企画調整課と地域振興課の2課を設置。なお、情報統計課を廃止し、企画部企画調整課に統合
- 鶴岡地区消防事務組合の解散に伴い、鶴岡市消防事務部局を設置
- 鶴岡地区衛生処理組合の解散に伴い、環境部を環境課・リサイクル推進課・施設課の3課へ再編
- 農業振興課を農政課に、農山漁村整備課を農山漁村振興課に名称変更
- 本所農業委員会事務局を藤島庁舎へ移転したことに伴い、藤島分室を廃止し本所に鶴岡分室を設置

## 3. 市営住宅の完成について

藤浪二丁目に建築の「鶴岡市営ふじなみ住宅」8戸が3月に完成し、新年度の4月1日より入居を開始しました。

## 4. 山形県議会議員選挙（鶴岡市選挙区）の結果について

山形県議会議員選挙（鶴岡市選挙区）が4月8日に執行され、結果は次のとおりです。

### ①投票の結果

（当日有権者数）	男 53,709 人	女 60,931 人	計 114,640 人
（投票者数）	男 34,837 人	女 39,426 人	計 74,263 人
（投票率）	男 64.86 %	女 64.71 %	計 64.78 %

### ②開票の結果

投票者数 74,263 名、投票総数 74,262 票（有効投票数 73,373 票、無効投票数 889 票）不受理 1 票

(候補者別得票数)

志田英紀	自由民主党	14,417.000票
阿部昇司	無所属	13,703.356票
阿部信矢	自由民主党	13,506.305票
菅原元	自由民主党	13,155.000票
笹山一夫	日本共産党	9,987.000票
田辺省二	社会民主党	8,604.337票

## 5. 火災の発生について

4月20日午前11時40分頃出火した、鶴岡市添川字西山619-1番地の林野火災は、面積12a、50年杉1本、10年杉1本を消失し12時36分鎮火しました。火災の原因は焚火の拡大によるものです。

## 6. 敬老会の開催について

平成19年度藤島地域敬老会を各地区ごとに4月21日、22日、29日に開催しました。対象者、出席者及び米寿・喜寿該当者の人数は次のとおりです。

単位：人

地区	対象者	出席者	米寿	喜寿
藤島	906	391	32	70
東栄	410	213	10	35
八栄島	208	94	7	13
長沼	253	139	7	23
渡前	347	193	8	36
合計	2,124	1,030	64	177

## 7. 平成19年春の褒章について

4月29日、平成19年春の褒章受章者が発表され、鶴岡市藤島消防団長 佐藤吉紀氏が消防功労で藍綬褒章を受章され、5月7日文翔館、同16日に虎ノ門パストラルホテルで伝達式が行われました。

## 8. 仙台市立中野中学校野外活動について

5月10日から11日まで、仙台市立中野中学校の2年生219名が野外活動の一環として藤島地域を訪れました。(同校は今年で6回目の訪問となります)

10日は、悪戦苦闘しながら約2時間かけ須走の30aの圃場に手植えで田植を行い、その夜は、一般家庭72世帯に分かれ民泊を体験し、庄内の農業と文化を学びました。

11日の体験学習は、そば打ち体験（上林幹夫氏及び櫛引宝谷）、笹巻づくり（JA女性部）、藁工芸（JA藁工芸部会）、陶芸教室（羽黒松ヶ岡）、いづめこ人形づくり（民芸の村木）の6会場に分かれ、農村文化に触れました。

また秋には、生徒達が田植えをした田んぼの米を、一部購入してもらい、実りと収穫の喜びを味わってもらいます。

#### 9. 名寄市老人クラブ連合会の来藤について

5月11日、名寄市老人クラブ連合会一行45名が藤島庁舎を訪れました。歓迎行事のあと、記念撮影を行ない、その後、東田川文化記念館、藤島城址を視察。夜の交流会（湯の浜地内）には、藤島老人クラブ連合会、藤島・名寄交流友の会、藤島庁舎関係者14名が参加し交流を深めました。

翌12日には、ふじの花まつりを視察し、四季の里「楽々」での昼食会のあと午後2時頃に藤島をあとにしました。

#### 10. 第16回ふじの花まつりについて

第16回ふじの花まつりを5月11日から13日にかけて、藤島体育館を会場に開催しました。

ふじの花盆栽展は、暖冬や春の低温など気候の中ではありましたが、開花状況に恵まれ、3日間の開催期間に約4,600人の来場者を迎えながら133鉢の出展されたふじの盆栽を楽しんでいただきました。藤島地域外からの来場者も多く、藤島の銘菓、藤島の酒、ふじの鉢植えなどの販売も好評で盛況なまつりとなりました。

13日の日曜日には、グラウンドゴルフ大会、はしご車、起震車などの体験試乗に加え、街中のふじや観光資源を巡るウォークラリーを商工会員等の運営により実施し、地域振興への取り組みを図ることもできました。

#### 11. 田川地区中学校駅伝競走大会 男女アベック優勝について

田川地区中学校駅伝競走大会が5月15日(火)小雨の降る中、小真木原運動公園周辺において開催されました。

昨年3位と今一步で県大会出場を逃した藤島中学校女子チームは、全員が安定した走りを見せ、大会記録を1分30秒更新する堂々の初優勝を遂げました。

また、男子チームは、昨年の優勝というプレッシャーをはねのけ、2位に1分46秒の大差で優勝し2連覇を果たしました。

男女とも9月8日(土)の県中駅伝大会での優勝が期待できる素晴らしい成績でありました。

## 12. 火災の発生について

5月16日午前4時00分頃出火した、鶴岡市藤島字鶴巻88-2番地地内で発生した車輛火災は、10tトラックの後輪2本を焼損し4時10分鎮火しました。火災の原因は、ブレーキの不具合による加熱と考えられます。

## 13. 地産地消とスローフードのつどいについて

5月27日、藤島エコタウンセンターを会場に「地産地消とスローフードのつどい」が開催され、県内各地から約80名が参加しました。

つどいでは、今注目のロハス（健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル）の聖地と呼ばれる米国コロラド州ボルダーで健康やオーガニック食品のコンサルティングを展開する井沢敬氏及び食の都庄内親善大使を講師に迎え、地産地消の大切さについて理解を深めました。

また、会場内では、在来作物の加工品やオーガニック食品、地産地消料理の試食が行われ、参加者の人気を集めました。

## 14. 春季消防大演習の実施について

5月26日（土）午後1時より鶴岡市藤島体育館駐車場において、鶴岡市藤島地域春季消防大演習を実施しました。

この演習は、消防の任務を遂行するため旺盛な消防精神を振起し、消防団員の士気を高め各種訓練を演習し、実力ある消防力を確立するため実施しているものです。

当日は、団員505名、分署員14名、婦人防火クラブ員20名の参加により、規律訓練等の各種演習及び記念行事を実施しました。

## 15. 横浜市苗場保育園、緑園なえば保育園との田植交流会について

5月20日（日）、藤島地域の『人と環境にやさしい農業実践者の会』（会長：鈴木紀生氏）が栽培する『藤島型特別栽培米』を給食に採用していることを縁として、保育園側と栽培農家との「田植交流会」が開催されました。

交流会に参加したのは、横浜市の苗場保育園と緑園なえば保育園の2つの保育園から園児51名、父母と保育士36名の総勢87名と藤島地域からは環境にやさしい農業実践者の会などから25名。

当日は、農家のお母さん方が準備した孟宗汁や大根葉のけんちんなどの郷土料理で昼食を済ませ、会員農家の阿部正志氏が管理する田んぼ（15a）で田植作業を体験しました。小雨と強風で厳しい環境での田植でありましたが、生産農家の指導を受けながら園児や父母たちは元気に作業を終え、命の糧である「米づくり」の大切さと大変さを認識していました。

9月には稲刈り交流会も予定されており、当地域がすすめる安心・安全なエコ農業を直に確認していただく機会であると期待しています。

## 16. 平成19年度第1回藤島地域審議会の開催について

新市建設計画の変更・執行状況に関する事項等について、市長の諮問に応じて審議する藤島地域審議会を5月29日、藤島庁舎大会議室で開催しました。

今年度第1回目となる審議会では、はじめに委員20人の内、新委員4人に辞令の伝達を行い、副会長選出の後、藤島地域の状況、組織機構の変更、今年度予算の概要について説明を行ないました。

委員からは、農業者・農業組織活性化対策事業（認定農業者への支援）、小学校入学記念品（ランドセル）の贈呈、災害時の水の確保、カラス被害、一人暮らし老人への除雪支援、合併後の評価などについて質問があり、現在の状況について説明をしました。

## 17. 市民運動会の開催について

6月3日、第49回市民運動会が約4,500人の参加の下、各地区ごとに盛大に開催されました。当日は絶好の運動会日和で青空の下、親睦と交流を深めながら各地区とも予定どおり終了することが出来ました。

## 18. 6月6日の豪雨災害について

6月6日17時05分、庄内南部に大雨・洪水警報が発表され、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

道路側溝、用排水路及び河川の状況等巡視しましたが、異常は確認できませんでした。

20時37分大雨・洪水警報が注意報が切り替わりました。

この豪雨による被害の報告はありませんが、強風（降雹）により、添川、鷺畑、東堀越地内の果樹（庄内柿）40ヘクタールに被害がありました。

被害農家戸数：100戸

被害作物：庄内柿

被害減収量：80t

被害面積：40ヘクタール

被害額：1,600万円

被害程度：落葉、破葉等

また、落雷の影響により、上藤島、渡前地内が停電になり、21時30分頃復旧しました。

## 19. 第19回けん玉道西東北大会で優勝

6月9日(土)、けん玉の生産日本一の長井市において、第19回けん玉道西東北大会が開かれ、長沼小学校から13名の子どもたちが参加しました。

競技の結果、女子の部で5年大沼茜さんが見事優勝し、3年連続の全国大会出場

を決めました。

茜さんは、「始め」の声の後も慌てることなく精神を統一し、気持ちを一点に集中し、素晴らしい技を見せてくれました。見ている者も思わず息を呑む演技でした。

そのほか、5位に大沼健太君と大沼由依さんが入賞し、成人の部では奥山徹先生が3位に入賞しました。

## 20. 赤川水防訓練の実施について

6月17日午後1時00分より鶴岡市赤川右岸河川敷において、赤川水防訓練が国土交通省酒田河川国道事務所、山形県消防協会庄内支部等の協力を得ながら開催されました。巡閲後、5中隊10小隊による5つの水防工法訓練、防災ヘリもがみと消防本部水難救助隊合同の救助救出訓練、国土交通省による内水排除訓練が実施されました。

## 21. 明るいまちづくり藤島大会の開催について

6月23日午後1時30分より鶴岡市藤島公民館において、約230名の参加を得て、「明るいまちづくり藤島大会」が開催されました。大会の冒頭に永年、交通安全及び防犯活動に功労のあった2個人6団体の方々に表彰状が手渡されました。大会では「交通事故と犯罪のない、明るく住みよいまちづくり」の大会宣言が採択されています。

## 22. 6月26日の豪雨災害について

6月26日6時27分、庄内南部に大雨・洪水警報が発表され、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

降雨時間は短いものの、時間雨量が大きいため道路側溝、用排水路及び河川の状況等巡視しました。

この豪雨による被害は次のとおりです。

発生場所：大川渡、大半田、幕野内、渡前、宝徳、箕升新田、古郡、添川、樺

被害作物：大豆、玉ねぎ

被害面積：5.6ヘクタール（大豆5.4 玉ねぎ0.2）

\*水路からの進入水はない

\*全市的には、床下浸水、床上浸水、土砂崩れのほか、1世帯に対し避難勧告が発令されています。

11時40分大雨・洪水警報が注意報が切り替わりました。

## 23. 鶴岡地区防犯協会連合会表彰について

6月27日鶴岡地区防犯協会連合会総会が開催され、冒頭、優良防犯団体として、長沼地域安全連絡協議会（代表：栗本総一郎）が表彰されました。

#### 24. 6月29日の豪雨災害について

6月29日11時45分、庄内南部に大雨・洪水警報が発表され、コミュニティ防災班、建設班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

降雨時間は短いものの、山間部の降水量が大きいため、河川の増水が早く、消防団長と協議し、消防団員に対し地元町内会の巡視を指示し、同時に庁舎で道路側溝、用排水路及び河川の状況等巡視しました。

16時30分大雨・洪水警報が注意報が切り替わりました。

この豪雨による被害の報告はありません。

#### 25. 鶴岡市藤島地域第34回金婚式の開催について

平成19年度「鶴岡市藤島地域第34回金婚式」を6月29日（金）午前11時から藤島公民館ホールにおいて開催しました。金婚式を迎えられた方は46組で、当日38組の出席をいただきました。

#### 26. 鶴岡市藤島地域県道改良促進期成同盟会の設立について

藤島地域の県道等の改良事業及び新規事業の促進に向け、地元の熱意を伝える運動や要望活動の強化を図るため、6月29日、藤島地域全町内会で組織する「鶴岡市藤島地域県道改良促進期成同盟会」が設立されました。

当日は、設立総会に引き続き、国土交通省酒田河川国道事務所 宮田所長を迎えての記念講演会が開催されました。

#### 27. 消防ポンプ操法審査会の実施について

7月8日、藤島体育館駐車場において、消防ポンプ操法審査会が実施されました。自動車ポンプの部1班、小型ポンプの部17班で行われ、審査の結果、小型ポンプの部では谷地興屋（2-1-3）が1位となり、自動車ポンプの部の下川尻（3-3-3）と庄内支部大会の出場を決めました。

#### 28. 市議会議員藤島庁舎地域懇談会の開催について

合併後の藤島地域の状況や課題について理解を深める市議会議員藤島庁舎地域懇談会を7月9日、庁舎3階大会議室で開催しました。懇談会には、委員として市議会の議長、副議長、各常任委員会委員長、各会派代表、藤島選挙区選出議員が出席し、説明員に庁舎管理職、総務部長、調整課長、議会事務局長、議会事務局次長があたり行われました。

会議の座長は副議長が努め、初めに行政等の状況・地域審議会の開催状況・今年度の主な事業を報告し、その後、意見交換を行いました。



## 29. 7月11日の大雨について

7月11日の大雨により藤島川、京田川の水位が上昇したため、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

藤島地域の降雨量は多くないものの、山間部の降水量が多かったため、河川の増水が続きました。消防団長と協議し、消防団に対し河川の巡視を指示するとともに、長沼地区水門管理組合と連絡を取り、水位の上昇を警戒しました。

午後10時現在の水位がピークと見られ、降雨もおさまったため警戒を解除し、自宅待機としました。

この大雨による被害の報告はありませんでした。

## 30. 佐藤吉紀鶴岡市藤島消防団長藍綬褒章受章祝賀会について

7月14日（土）午後2時から藤島公民館大ホールにおいて、佐藤吉紀鶴岡市藤島消防団長藍綬褒章受章祝賀会を開催しました。藤島消防団分団長以上により実行委員会を組織し、消防関係者等140名の出席のもと、開催されました。

## 31. 7月16日の新潟県中越沖地震について

7月16日午前10時13分頃、新潟県上中越沖（北緯37度33.4分 東経138度36.5分 新潟県の南西60km付近 震源の深さ17km）を震源とした、マグニチュード6.8の地震が発生しました。

庄内地方では震度3を示したため、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。藤島地域では震度3.3でした。

羽越本線が点検のため運転を見合わせた以外は、被害の報告はありませんでした。

また、同日午後3時37分ころ新潟県中越地方（北緯37度30.2分 東経138度38.6分 震源の深さ23km）を震源とした、マグニチュード5.8の地震が発生しました。速報値で震度3が発表されたため、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。藤島地域では震度2.2でした。

被害の報告はありませんでした。

## 32. 鶴岡市総合計画策定藤島地域懇談会の開催について

鶴岡市総合計画の策定にあたり、合併により拡大した市域の実態と課題を的確に捉え、計画策定に反映させるために、旧町村地域を単位とした地域懇談会が開催され、藤島地域では7月18日、庁舎3階大会議室で開催しました。

懇談会では、各地域の現状について説明をした後、委員の方々から地域の実態と中長期的な課題について、意見を伺いました。

### 33. 火災の発生について

7月27日午後0時58分頃出火した、鶴岡市渡前字中屋敷71番地 丸山新一宅の建物火災は、稲倉1・2階357.05㎡を全焼。車庫約45㎡のうち23㎡焼損し半焼。消防隊、消防団等の出場により14時18分鎮火しました。

火災の原因は不明です。

### 34. 第21回参議院議員通常選挙（鶴岡市開票区の結果について）

7月29日、第21回参議院議員通常選挙が執行され結果は次のとおりです。

#### ①投票の結果

##### 【山形県選出議員選挙】

（当日有権者数）	男 54,214 人	女 61,341 人	計 115,555 人
（投票者数）	男 36,581 人	女 39,797 人	計 76,378 人
（投票率）	男 67.48 %	女 64.88 %	計 66.10 %

##### 【比例代表選出議員選挙】

（当日有権者数）	男 54,214 人	女 61,341 人	計 115,555 人
（投票者数）	男 36,579 人	女 39,793 人	計 76,372 人
（投票率）	男 67.47 %	女 64.87 %	計 66.09 %

#### ②開票の結果

##### 【山形県選出議員選挙】

投票者数 76,378 名、投票総数 76,377 票（有効投票数 74,839 票、無効投票数 1,538 票）

（候補者別得票数）

佐藤 雅之	日本共産党	7,995 票
舟山 康江	民主党	38,749 票
篠原 みゑ子	自由民主党	28,095 票

##### 【比例代表選出議員選挙】

投票者数 76,372 名、投票総数 76,372 票（有効投票数 73,154 票、無効投票数 3,218 票）

（各名簿届出政党等及び名簿登載者の得票数）

別紙のとおり（省略）

### 35. エコ・グルメ親子食育教室の開催について

8月4日、藤島エコタウンセンターを会場に「親子食育教室」が開催され、藤島地域の親子7組、16名が参加しました。

教室では、新屋敷地内の園芸ハウスにおいて、特別栽培トマトの収穫体験を行い、生産者の苦労や食材の豊富さについて理解を深めました。

また、その後行なわれた調理実習では、酒田調理師専門学校講師の海藤道子氏を

講師に地産地消料理の調理法を学び、親子で協力して楽しく食育に触れる機会となりました。

#### 36. 消防操法庄内支部大会の結果について

8月5日午前9時00分より山形県消防学校（三川町）で行われた消防操法庄内支部大会は、自動車ポンプの部、下川尻（3-3-3）が9位、小型ポンプの部、谷地興屋（2-1-3）が11位という成績でした。

#### 37. 名寄・藤島少年少女相互交流事業の実施について

8月3日から6日までの4日間にわたり、長沼小学校児童5・6年生8名と随行者3名の計11名が、姉妹都市、北海道名寄市を訪問し、昨年、藤島地域に訪れたよさこいチーム「北鼓友（きたこども）なよろ」の児童たちと剣玉等をおし交流を深めました。

#### 38. 火災の発生について

8月6日12時58分頃出火した、鶴岡市上中野目字上長堰端4番地 富樫 滋宅の建物火災は、住宅2階部分44㎡を焼失。1階42㎡、2階20㎡を水損し、消防隊、消防団等の出場により11時41分鎮火しました。

この火災で、3男がのどの痛みを訴えたため市立庄内病院に搬送されています。火災の原因はたばこの不始末と推定されます。

#### 39. 第25回ふじしま夏まつりについて

8月11日、庄内伝統芸能祭をメインに、第25回ふじしま夏まつりの各種イベントが行われました。

庄内伝統芸能祭では、添川両所神社、八色木の二つの獅子踊りに加えて、他の地域から太鼓団体等も招致し、地域の振興にける熱意が競演するステージとなりました。焼肉フェスティバル、盆踊りにも多くの参加があり、交流とまちづくりの発展を図る夏まつりにふさわしい盛會を得ることができました。

#### 40. 藤島地域成人式の挙行について

8月12日（日）藤島公民館大ホールにおいて平成19年度鶴岡市藤島地域成人式を挙行了しました。今年度の成人者は、169名（男75名・女94名）で参加者は140名でした。地域庁舎主催での2回目となる成人式で主催者として市長、教育長、芳賀選挙管理委員、中目教育委員長職務代理者が参列しました。また来賓として阿部県議会議員、榎本市議会議長をはじめ26名の来賓のご出席をいただきました。

成人者を代表し寒河江未季さんが力強く、また清楚に「誓いのことば」を述べ

閉会しました。式典後、記念写真撮影及び「成人のつどい」が行われました。

#### 41. 8月22日の大雨について

8月22日13時05分庄内南部に大雨・洪水警報が発表され、コミュニティ防災班が警戒体制をとり情報の収集にあたりました。

時間雨量が大きかったため、長沼地内で道路の一部冠水がありましたが通行規制は行っていません。また、他の側溝、用排水路の状況等巡視しましたが、降雨時間が短かったため越水は確認できませんでした。河川の水位は京田川で指定水位(2.00m)を若干超えましたが問題はありませんでした。

酒田市付近の被害が大きく、温海地域で1ヶ所土砂流出があり市道が一時全面通行止めになっています。

18時15分大雨・洪水警報が注意報が切り替わったため、警戒を解除しました。この大雨による藤島地域での被害の報告はありませんでした。

#### 42. 火災の発生について

8月25日6時48分頃出火した、鶴岡市藤島関根字猫田17番地2 サンエイクリスタル株式会社の建物火災は、工場内クリーンルーム4㎡、冷房用室内機1機及びガラス2枚焼損、消防隊、消防団等の出場により7時40分鎮火しました。

原因については、現在調査中です。

#### 43. 第2回鶴岡市長杯グラウンド・ゴルフ交流大会の開催について

8月26日、第2回鶴岡市長杯グラウンド・ゴルフ交流大会が藤島体育館(常設グラウンド・ゴルフ場、芝生広場)を会場に開催されました。

本大会は、昨年、新鶴岡市の誕生を祝い、鶴岡市各グラウンド・ゴルフ協会、同愛好会が主催しスタートしたもので、本年度で2回目。会場は持ち回りで、本年度は藤島地域会場での開催となり、参加者は448名。競技は個人戦の男女オープンで行なわれ、藤島地域新町町内会の佐藤勉さんが総合優勝に輝きました。

#### 44. 全日本けん玉道選手権大会準優勝について

第19回全日本少年少女けん玉道選手権大会が8月26日、東京池袋のサンシャインビル特設会場で開催されました。西東北大会を勝ち抜いて出場した長沼小学校5年の大沼茜さんは3年連続の出場。初戦は優勝候補との対戦となり、息つまる接戦の末勝利を収めるとその勢いで決勝まで進出。

決勝戦で惜しくも敗れましたが堂々の準優勝を勝ち取りました。

昨年までは善戦しながらも全国の壁に跳ね返されてきましたが、その悔しさをバネに毎日の練習と集中力を養っての見事な演技は、応援している人にも大きな感動を与えました。

#### 45. 鶴岡市藤島地域総合防災訓練について

9月1日午後1時より東栄小学校グラウンドを主会場に鶴岡市藤島地域総合防災訓練が行われました。東栄小学校児童・教職員、東栄地区自主防災会（町内会）、消防団等約516名の参加により避難訓練をはじめ16項目の訓練を行いました。

#### 46. 9月6日～7日の強風被害について

台風9号の影響により、6日13時43分に強風注意報、19時53分に大雨、洪水、雷注意報が発表され、また、台風の進路が7日夕方山形県を通過する予報のため、庁舎としての対応を協議し、翌日朝の街宣等確認しました。

7日8時45分から5班に分かれて、広報及び被害状況確認を実施しました。昼頃に台風は山形市の西を通過しましたが、当地域では大きな雨もなく、吹き返しの風も強くなかったため、19時15分自宅待機にしました。

この台風による被害は次のとおりです。

- ・藤島東線：街路樹幹折れ 1ヶ所
- ・上蛸井地内：立看板破損 2枚
- ・豊栄地内：立ち木の倒木 1ヶ所（倒木が電線、電話線に倒れ掛かっているため、東北電力で立ち木の撤去等実施。停電なし）

#### 47. 県中学校駅伝競走大会で藤島中学校が大活躍

9月8日(土)、天童市の県総合運動公園周回コースで開催された中学校駅伝競走大会で、田川地区の優勝校として藤島中学校は男女アベック出場を果たしました。

女子の競技では、2区で4位からトップに躍り出るものの、3区、4区では2位、アンカーでは2人に抜かれ惜しくも4位と後退。東北大会出場を逃す結果となりましたが、初出場で4位は大健闘の走りでありました。

男子の競技では、女子と同様2区でトップに躍り出るも、4区で優勝候補の米沢2中に抜かれ2位に後退。5区、6区と力走するものの捉えられずに2位。昨年優勝し連覇の望みは果たせなかったものの、2位の成績は日頃の練習の成果を十分に発揮しての結果であり、11月3日(土)の秋田市で開催される東北大会での活躍が期待されます。

#### 48. 子育てフォーラムの開催について

9月9日(日)、子育てフォーラムが藤島体育館を会場に150名の参加を得て開催されました。今年度は1部の中学生の発表では、部活動を通しての悩みや、家族との愛情など豊かな表現力で堂々と発表する姿に多くの参加者が感動した様子でした。

第2部の記念講演では、仙台市の小児科医師の田沢雄作氏からの「今子どもがあぶない。子どもたちに心のワクチンを」と題し、テレビゲームやビデオ等が子ども

の脳の発達に大きな障害を与えている実態などを公演いただきました。

参加した親からは、地域としての取組み、運動を起こす必要があるのではないか等の積極的な意見も出され、有意義な研修の機会であった。

#### 49. 交通死亡事故多発警報の発令について

9月13日から9月21までの9日間に、県内において6件6名の交通死亡事故が発生したため、山形県知事が「交通死亡事故多発警報」を発令しました。

期間は9月25日から10月1日として、交通安全指啓発を行いました。

藤島庁舎では、「交通死亡事故多発警報発令中」看板を3箇所に設置、鶴岡警察署発行の啓発チラシの全戸配付及び広報車による街宣活動を行いました。また、交通安全県民運動とあわせて、朝の交通安全街頭指導を行いました。

#### 50. 火災の発生について

9月30日17時40分頃出火した、鶴岡市藤島字中細杖15番地1地内で発生した車両火災は、軽トラックの助手席側ダッシュボード部分から出火し、従業員により消火器で消火しました。

火災の原因は、調査中です。

《参考》平成19年の火災

1月 2日：大半田地内（建物火災） 1月14日：上藤島地内（建物火災（事後））

4月20日：添川地内（林野火災） 5月16日：藤島地内（中町）（車両火災）

7月27日：渡前地内（建物火災） 8月 6日：上中野目地内（建物火災）

8月25日：関根地内（建物火災） 9月30日：藤島地内（下町）（車両火災（事後））

年	火災件数計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
平成9年	3件	3件	件	件	件
10	3	2		1	
11	4	4			
12	3	3			
13	1	1			
14	6	4		1	1
15	4	4			
16	3	3			
17	3	3			
18	1			1	
19	8	5	1	2	

#### 51. 平成19年度鶴岡市制施行記念式典・祝賀会の開催について

10月1日、平成19年度鶴岡市制施行記念式典・祝賀会が東京第一ホテル鶴岡鳳凰の間で、関係者約200名の出席のもと開催されました。

記念式典においては、名誉市民の日向康吉氏（東北大学名誉教授）による「鶴岡市への想い」と題し記念講話がありました。

#### 52. 東京藤島会総会・交流会の開催について

10月7日、東京都荒川区東日暮里ホテルラングウッドにおいて、会員69人、来賓16人、市関係12人の出席により開催されました。

#### 53. エコ宣言10人グループ宣言書の贈呈式について

藤島地区衛生組織連合会の平成19年度事業であるエコ宣言10人グループ推奨事業を8月末で申し込みを締め切りましたが、15グループの申し出があり、代表して「エコひまわりグループ」（代表：草島清子さん、谷地興屋）に10月12日午後2時、庁舎庁議室で、宣言書及び記念品の贈呈を行いました。

同グループは、ヒマワリ栽培を通じて環境保護活動を展開してきたグループであります。代表の草島さんから、今回の宣言書により町内会に「もったいない」意識をますます高揚していきたい、との抱負が述べられました。

他、14グループ名（町内会）は次のとおりです。

・レジ袋受け取りません（表小路） ・レジ袋もらわない（八色木） ・しっかり守ります、にこにこエコ実践（中荒俣） ・マイバック持って行こう（下中野目）  
・「美しい下町」エコグループ（下町） ・レジ袋は受け取りません（越後京田）  
・野焼きはしません（須走） ・買い物袋は持参します（新町） ・中町エコグループ（中町） ・ゆっくり発進（古郡） ・新屋敷レジ袋いらない会（新屋敷）  
・レジ袋は受け取りません（三和） ・藤岡レジ袋いりません（藤岡） ・チャレンジ6%（町内会地区役員）

#### 54. 農業集落排水処理組合懇話会の開催について

平成19年10月16日（火）午後6時30分より、藤島庁舎内会議室において、藤島地域内の農業集落排水処理組合の役員である町内会長を対象にした、懇話会を開催しました。（34名中29名出席）

平成20年度から廃止される「維持管理協力金」と、農集排使用料金の改定に関して現在、諮問されている「鶴岡市下水道使用料等審議会」の経過について説明し、町内会長のご理解をいただきました。

## 55. 消防用普通積載車及び小型ポンプの引渡しについて

10月19日午後7時より藤島庁舎において、消防用普通積載車及び小型ポンプの引渡しを行いました。今年度は普通積載車を第2分団第2部第2班（野田目）、小型ポンプを第2分団第2部第3班（越後京田）、第4分団第2部第4班（下通）に配備しました。なお、操作説明会を21日午後1時30分から行い、実践配備しました。

## 56. 総務大臣とのくるまざ対話 in 山形の開催に伴う「産地直売所四季の里「楽々」視察・意見交換会」について

10月21日（日）に、地域活性化方策及び地方行政・地域経済の諸課題について、市町村長及び地元経済界・農林漁業関係者等と意見交換する『総務大臣とのくるまざ対話 in 山形』が東北公益大学大学院ホールで開催され、それに伴う産直施設の視察と地域の農業者との意見交換が『藤島エコタウンセンター・四季の里楽々』で行われました。

視察に訪れたのは増田総務大臣・齋藤山形県知事以下国県関係者20名で、藤島地域が取り組む『エコタウンプロジェクト』を説明した後に店内及び隣接する『楽々・薫工房』を視察しました。また、当日は鶴岡中央高校の親子行事で関係者70名が餅つき体験といも煮を実施していましたが、大臣と知事も飛び入りで餅つきに参加し、高校生との交流を図りました。

意見交換会には、増田総務大臣及び河野自治税務局長と本市の農業者6名が出席し、米消費拡大に向けた米飯給食の拡充や農業担い手の問題などに関して活発な意見交換が交わされました。

また、当日の昼食として当地域の加工グループである「加工クラブ青空」の地産地消料理が振る舞われ、大臣はじめ関係各位に好評を得ました。

なお、意見交換に参加した農業者と昼食のお品書きは以下のとおりであります。

- ① 庄内たがわ農業協同組合 齋藤泰宏代表理事専務
- ② 黄金地区籾乾燥調製貯蔵施設利用組合 阿部隆組合長
- ③ (農)みます元氣村 押井秀勝事務局長
- ④ 産直めぐり運営管理組合 澤川宏一組合長
- ⑤ 人と環境にやさしい農業実践者の会 鈴木紀生会長
- ⑥ 藤島認定農業者の会・サンサン畑の会 井上馨会長

### ■昼食の『お品書き』

1. 庄内風芋煮
2. 鮭の焼き物
3. もつてのほか（菊）とからとりの浸し
4. なめこのおろしあえ
5. 赤カブ漬
6. はえぬき（生産者井上馨・鶴岡市認証の鶴岡エコ型特別栽培米・東京都港区の給食に採用）
7. 果物（庄内柿）



#### 57. 藤島地区下水道事業推進協議会研修会の開催について

平成19年10月26日（金）午後1時30分より藤島地区下水道事業推進協議会研修会が開催されました。視察地は、庄内浄化センター及び鶴岡コンポストセンターで17名（27名中）の委員が参加しました。

#### 58. ふじしま秋まつりの開催について

今年のふじしま秋まつりは、10月27日～29日の芸術文化祭と11月4日藤島体育館での地産地消フェスティバル、JA秋まつり、薫文化大祭、屋台村、お祭り広場という2部構成で行われました。

薫文化大祭はぞうりづくりや薫神楽の発表、薫馬による体験乗馬で多くの来場者に薫の魅力を発信していました。

屋台村では、JA秋野菜の直売を始め、地産地消の「たがわ納豆」「ポテトチップス」の特売、庄内農業高校の「手作りうどん」が好評を博したのと併せ、農協生産組織による「もちつきふるまい」もたくさんの人にもふるまわれ、会場の盛り上げと「ふじしま産」のPRを多いに果たすものとなりました。

#### 59. ふじしま「新米」&「地産地消」フェスティバル

11月4日（日）、鶴岡市藤島体育館アリーナを会場にふじしま「新米」&「地産地消」フェスティバルが開催され、約1,000名ほどの来場者で賑わいました。

フェスティバルでは、ごはんの美味しさを引き立てる料理を公募した「ごっつお」コンテストや「食の都庄内」親善大使の太田政宏シェフと奥田政行シェフによる調理の実演、新米の食べ比べ、学校給食と機能性農産物の加工品コーナーが人気を集めました。

また、当日は「エコタウンに関する絵画と作文コンクール」の作品展示と入賞者の表彰式も開催され、エコと地産地消を考える一日となりました。

#### 60. 市長と語る会の開催について

藤島町内会長連絡協議会主催による「市長と語る会」が、11月5日（月）午後1時30分より、ふれあいセンターで開催され、関係者100名が参加しました。

市民憲章唱和、主催者挨拶、市職員紹介、市長講話の後、「公益医療（庄内病院の医療体系）と開業医からの紹介等仕組みについて」「スクールバスの臨時運行等について」「伝統芸能に対する育成強化への支援について」「各地区公民館の役割と今後のあり方について」「空き屋世帯における防災管理について」「地籍調査事業について」「農業・農林の課題について」の7つのテーマについて、それぞれ質疑応答が行なわれました。

#### 61. ふじしま文化フェスティバルの開催について

10月21日(日)藤島公民館において、講師に落語家の山田隆夫氏を招いて「笑いと健康」と題して開催し、約300人が入場しました。

また、10月27日(土)から29日(月)まで、藤島公民館を主会場に、第36回藤島芸術文化祭を開催し、生花・絵画等の展示、囲碁大会、合同茶会、芸能発表会には約1,000人の入場者がありました。

11月10日(土)の第18回ふじしま音楽祭は、幼稚園児から一般まで16団体518人が出演し、芸術の秋・音楽の秋を満喫しました。

#### 62. 交通死亡事故多発警報の発令について

11月11日から11月20日までの10日間に、県内において6件6名の交通死亡事故が発生したため、山形県知事は11月21日、県内全域に「交通死亡事故多発警報」を発令しました。期間は11月21日から27日までの7日間。

藤島庁舎では、「交通死亡事故多発警報発令中」看板を庁舎前に設置、広報車による街宣活動を行いました。

なお、警報発令後も県内(南陽、酒田、高島)において3件の死亡事故が発生したため、11月28日から12月4日まで期間が延長されました。それに伴い、看板を藤島公民館前、藤島体育館前に設置しました。

#### 63. 第2回鶴岡市総合計画策定審議会藤島地域懇談会の開催について

鶴岡市総合計画の策定にあたり、合併により拡大した市域の実態と課題を的確に捉え、計画策定に反映させるため、旧町村地域を単位とした第2回地域懇談会が開催され、藤島地域では11月15日、庁舎3階大会議室で開催しました。

懇談会では、各地域の地域資源の現状と評価・分析と地域振興プロジェクトの方向性について説明した後、委員の方々から地域資源を活かした地域振興について、意見を伺いました。

#### 64. 秋季善行表彰の受賞について

11月17日、明治神宮参集殿において、社団法人 日本善行会による平成19年度秋季善行表彰式が行なわれ、交通安全協会渡前分会長の武田伊作氏(砂塚町内会)が事故防止に尽くされた行為を称えられ、善行表彰を受賞されました。

#### 65. 全国民俗芸能大会出演について

11月24日(土)日本青年館大ホール(東京都)で開催された、財団法人日本青年館・全国民俗芸能保存振興市町村連盟主催の第57回全国民俗芸能大会に当地域の八色木獅子踊保存会(会長:渡部正弘さん)が出演しました。

この大会の出演選定芸能基準は、全国5ブロックで行われる各地方大会出演芸能

を参考に、価値に優れ、保存振興を計る必要のあるものの内から4～5芸能を選定するというものです。今回、全国から学術的にも価値が高い、選りすぐりの民俗芸能として全国で6団体のうちの一つに推薦され、出演の運びとなりました。

#### 66. 藤島町商工会臨時総会（合併決議）の開催について

11月20日午後、藤島町商工会臨時総会が開催され、『平成20年4月1日に藤島町商工会、羽黒町商工会、櫛引町商工会、三川町商工会、朝日村商工会、大山商工会、及び温海町商工会が合併して「出羽商工会」となり、構成商工会は解散すること。藤島町商工会に本所を置き、他の6商工会にはそれぞれ支所を置くこと。』などが決議されました。同日に構成する7商工会において同様の臨時総会が開催され、それぞれで合併に関連する決議が行われました。

11月28日には、マリカ西館で合併契約調印式が行われ、鶴岡市長と三川町長を立会人に、構成する7商工会長により契約調印がなされました。今後、新設商工会の計画作成と県への認可申請を経て、来年4月1日に「出羽商工会」が誕生することになります。

#### 67. 藤島・日中友好協会の解散について

藤島・日中友好協会（阿部博光会長）の平成19年度総会が11月30日、藤島町商工会館で開催され、同協会解散関連議案を承認し、同日で解散となりました。同協会は、昭和59年に発足し、これまで11回にわたる訪中団を派遣し、延べ263名が中国を訪れて交流しました。

今後は、鶴岡田川地区日中友好協会事業へ各個人が積極的に参画していく方針を確認しました。

#### 68. 火災の発生について

12月17日10時10分頃出火した、鶴岡市平形（上平形）地内で発生した車輛火災は、ごみ収集車（パッカー車）から出火し、従業員により消火器で消火しました。

火災の原因は、パッカー車荷台で、収集したスプレー缶が圧縮され可燃性ガスが漏れ、圧縮された金属同士の衝撃火花により引火したものと推定されます。

《参考》平成19年の火災

1月2日：大半田地内（建物火災）1月14日：上藤島地内（駅前）（建物火災（事後））  
4月20日：添川地内（林野火災）5月16日：藤島地内（中町）（車輛火災）  
7月27日：渡前地内（建物火災）8月6日：上中野目地内（建物火災）  
8月25日：関根地内（建物火災）9月30日：藤島地内（下町）（車輛火災（事後））  
12月17日：平形地内（上平形）（車輛火災（事後））

年	火災件数計	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
平成9年	3件	3件	件	件	件
10	3	2		1	
11	4	4			
12	3	3			
13	1	1			
14	6	4		1	1
15	4	4			
16	3	3			
17	3	3			
18	1			1	
19	9	5	1	3	

#### 69. 大半田踏切拡幅工事の完成について

地元大半田町内会はもとより、永年の懸案でありました大半田踏切が拡幅され、12月25日に開通しました。

このことにより、大型車の通行や踏切内での車同士の交差が可能となり、スムーズな交通が確保されるとともに、踏切内の安全性が向上されました。

#### 70. 火災の発生について

1月4日午前9時15分頃出火した、鶴岡市長沼字宮前34番地 大久保幸子宅の火災は、木造二階建瓦葺一部トタン葺住宅延べ148㎡（1階部分103㎡、2階部分45㎡）を全焼。車両1台を焼損し、消防隊、消防団、自主防災会及び三川町消防団等の出場により10時53分鎮火しました。この火災で、佐藤繁治さんが遺体で収容されました。火元は1階台所と推定されますが、出火原因については不明です。なお、町内会長連絡協議会長名で火災見舞金のとりまとめを行ないました。

#### 71. 藤島地域新年祝賀会の開催について

1月5日、鶴岡市藤島地域新年祝賀会を藤島公民館で開催し、市民憲章唱和に続き、市長・市議会議長賀詞のあと交流を行ないました。本祝賀会には、地域内官公庁団体・市民・企業関係者131名が出席しました。

#### 72. 藤島地域消防出初式の実施について

1月6日、藤島公民館前において鶴岡市藤島地域消防出初式を実施しました。4日に発生した火災による死亡を受け、内容を一部変更して実施しました。

当日は団員166名、分署員14名、婦人防火クラブ5名、鶴岡警察署長ほか、

多数の来賓の参加により観閲、訓示、梯子乗り・纏振り及び分列行進を行いました。

### 73. 緊急火災多発警報の発令について

平成20年に入り1月4日に藤島地域、10日に櫛引地域で火災が発生し3名の方が亡くなるという異常事態をうけ、11日緊急火災多発警報が消防本部から出されました。

藤島地域では、11日から17日までの1週間、消防団による防火広報、市広報車による広報を行いました。また、消防本部主体で世帯回覧チラシを作成し配付しました。

### 74. 緊急火災多発警報の発令について

1月21日未明に鶴岡地域において火災が発生し1名が遺体で発見されました。平成20年に入り5件の火災が発生し4名の方が亡くなるという異常事態をうけ、本年2度目の火災多発警報が消防本部から出されました。

藤島地域では、22日から31日まで、市広報車による防火広報を行いました。

### 75. 火災の発生について

2月4日午前5時20分頃出火した、鶴岡市長沼字宮前112番地 小林 勲宅の火災は、木造二階建瓦葺住宅合計0.1㎡を焼損しましたが、家族による初期消火で鎮火しました。

出火原因は、ろうそくが倒れ着火したものです。

《参考》藤島地域の平成20年の火災

1月4日：西小路地内（建物火災）

（単位：件、人）

年	件数計	建物	林野	車輛	その他	犠牲者
平成10	3	2		1		
11	4	4				
12	3	3				
13	1	1				
14	6	4		1	1	1
15	4	4				
16	3	3				
17	3	3				1
18	1			1		
19	9	5	1	3		
20	2					1

## 76. ふじしまスポーツクラブ設立総会の開催について

平成20年2月17(日)午後1時30分から、鶴岡市藤島公民館大ホールにおいて「ふじしまスポーツクラブ」の設立総会が、藤島地域スポーツ関係者約80名の参加を得て開催されました。

総会では、規約、役員、事業計画及び収支予算が原案どおり承認され、引き続き開催された記念式典では、来賓を代表して(財)日本体育協会会長、庄内教育事務所所長、鶴岡市体育協会会長よりご祝辞をいただきました。

さらに、その後に開催された記念講演会では、昨年中国チベット自治区にある「ヤラシャンポ」の登頂に成功した、山形県中国西藏登山隊隊長の稲泉眞彦氏より「未踏峰ヤラシャンポへの挑戦」と題してスライドを利用してのご講演をいただき、貴重な体験談に参加者一同大きな感銘を受けました。また、先生は健康を維持する上でのスポーツの重要性や仲間作りなど今後のスポーツクラブの方向性も示すなど、有意義な講演となりました。

今回発足した「ふじしまスポーツクラブ」は、まったく新しい組織であることから住民にとって理解しづらい面もありますが、多くの地域住民の賛同が得られるよう努力することを改めて誓い合った設立総会となりました。

## 77. 鶴岡市農業発展奨励賞の受賞について

市では、優れた経営実績や創意工夫に富む生産技術を実践している農業者、生産組織、法人等に対し、「鶴岡市農業発展奨励賞」を授与しています。

平成19年度の表彰審査委員会が去る2月19日に開催され、藤島地域からは、集落内の全農家をまとめ、集落営農の先駆けとして、庄内の水田農業のモデル的な農業を展開した「農事組合法人 みます元氣村」が旧鶴岡市以外では、初の受賞となりました。なお、授賞式は3月21日に行われました。

## 78. 藤島町商工会解散式について

2月23日(土)藤島町商工会館において、関係者約100名が出席し、藤島町商工会の解散式が行われました。藤島町商工会は、昭和35年の商工会法施行以来、地域の商工振興のみならず、特産品の開発、観光事業の展開、イベント等の開催、従業員の福利厚生事業の実施など、地域の活性化に向け大きな役割を果たして来ましたが、庄内南部7商工が平成20年4月の合併にともない、半世紀におよぶ歴史の幕を閉じることとなりました。

記念式典では、会長挨拶、経過報告に続き、52名の方に感謝状が送られ、その後、来賓方々から祝辞が寄せられました。

祝賀会では、今日までの思い出とともに、新たな組織として生まれ変わることへの期待が語り合われ、決意を新たにしたところです。

## 79. 2月23～24日の強風被害について

寒波の影響により、22日18時34分に風雪、波浪注意報、23日6時29分に暴風雪、波浪警報が発表されました。瞬間風速が狩川で17m/sでした。

この風による被害は次のとおりです。

- ・豊栄地内：宅地内樹木の倒木 2本 うち1本が住宅に倒れ家屋の一部損壊

## 80. 第57回明治ホールコンサートの開催について

平成20年2月24日(日)藤島文化スポーツ事業団主催の「第57回明治ホールコンサート」が鶴岡市東田川文化記念館において開催された。今回のテーマは「未来に羽ばたく・若い芽のコンサート」として、日頃音楽教室などで練習を重ね、将来の期待される若き演奏家を応援することを目的としたもので、鶴岡市及び庄内町の小学生14名、中学生5名、高校生等7名の計26名が、ピアノ独奏・連弾、フルート独奏・二重奏・三重奏、ヴァイオリン独奏、ギターアンサンブルやクラリネットとサクスの木管三重奏など多彩なメニュー。2時間あまりのクラシック音楽は120名の観客を魅了し、将来の活躍を願う大きな声援と拍手に包まれ終了した。

## 81. 鶴岡市有機農業推進協議会の設立と有機農業総合支援対策事業の取組について

平成20年1月29日(火)に、有機農業者・有機農業団体・JA・鶴岡市などで構成する「鶴岡市有機農業推進協議会」が発足し、有機農法の実践研修、有機農産物の販路拡大など各種の事業内容が決定。さらに、平成20年度からの新規事業である「有機農業総合支援対策」における「有機農業のモデルタウン」の認定を目指す方針も確認しました。

農水省が進める有機農業総合支援対策は、有機農業推進の核となるモデルタウンを全国で44箇所程度認定し支援する事業であります。

同協議会は、有機農業技術の実証圃などを中心とした事業計画を策定し2月29日(金)付けで農水省に申請しました。

## 82. 藤島地域下水道事業の完了について

昭和63年に川尻地区を農業集落排水事業として着手し、その後、新屋敷・平形地区、渡前地区、大川度・八谷興屋地区、添川地区と順次整備を行い、平成17年度東栄地区をもって整備を完了しました。

一方、公共下水道事業は平成5年に流域関連公共下水道事業として藤島元町地区に着手し、その後、八栄島地区、平成13年度には特定環境保全公共下水道事業として新たに長沼地区に着手し、平成16年には藤島東部地区も加え整備を進め、平成19年度ではほぼ整備が終了し、平成20年4月には藤島地域61町内会の全てで下水道施設を利用することが可能となりました。

なお、公共下水道事業及び農業集落排水事業で取り組みできない一部区域については、平成16年度より浄化槽事業での整備を行っています。

本事業の完了報告会は、3月18日、藤島公民館で関係者80名の出席のもと行われました。

### 83. 鶴岡市藤島消防団解団式の実施について

平成20年度からの鶴岡市消防団指揮命令系統の一本化を進めるため、現在の6連合消防団制から1消防団9方面隊体制に移行することに伴い、平成20年3月29日(土)午後3時から藤島公民館において、鶴岡市藤島消防団解団式が実施されました。元藤島町長、同助役、同収入役、藤島地域選出市議会議員、藤島消防団OB会、藤島地域町内会長会代表等85名の参加を得て、開催されました。



## 合併調整の概況について

### 1 現在までの合併調整の経過

6市町村の合併に伴う2,554項目に亘る各事務事業の合併調整については、合併協議における協議を踏まえ、また、多くの市民の方々からご意見も頂戴しながら、極力、住民サービスの維持に配慮し、組織内部や事務運営の合理化を図ることを中心に、以下の「基本的な考え方」により調整を進めてきたところです。

その結果、昨年度末までに2,501項目の調整を終えたところであり、調整が未了となっている53項目については、今年度に調整を進めることにしております。

### 2 基本的な考え方

- (1) 合併協議の調整方針の尊重
- (2) 市民の理解を得られる調整内容と各地域への配慮
- (3) 同じ市民としての受益と負担の公平化、適正化
- (4) 金品等の交付から市民の所得の増大と利便性をもたらす環境づくりへの移行

### 3 合併調整の状況

#### (1) 全体の調整状況

事 項	件 数	備 考
総 項 目 数	2, 5 5 4	
行政内部の事務等に関する項目	2, 1 2 4	
住民サービス・負担の水準に関わる項目	4 3 0	(A)

※(A) 住民サービス・負担の水準に関わる項目(430項目)の内訳

区 分	件 数	
内容を調整した項目	2 3 0	
内 訳	全市的にサービスを拡大・拡充した項目	1 0 1
	制度の拡大・拡充など住民サービスの水準が向上した項目	1 4
	制度やサービスの拡大・縮小双方ある項目	3 7
	制度や住民負担などについて見直しを行った項目	3 2
	調整の結果制度を廃止した項目	4 6
従来どおりとした項目	1 4 7	
調整中(調整未了)の項目	5 3	今年度調整

#### (2) 主な事務事業の調整結果 (3頁参照)

#### 4 今年度の主な調整分野(調整未了項目)

市民生活に広く密接に関わる項目については、慎重に検討を重ねてきており、現在も自治組織や税関係など53項目残っております。(5頁参照)

#### 5 今年度の調整の進め方

調整未了の53項目については、従来と同様の考え方で調整を進めていくこととしておりますが、今後更に国・地方とも財政事情が厳しくなることが懸念され、先送りすればするほど調整が難しくなることが予想されることや、同じ市民として受益と負担の公平化を図る観点からできるだけ早期に調整を進めることが望ましいことから、今年度中を目処に調整を終えたいと考えております。

なお、調整を進めるにあたり、地域による違いがあることが合理的であるというようなものについては、新たな施策として、市議会とも相談しながら、検討してまいりたいと考えております。

# 住民サービスなどに関わる主な事務事業の調整結果

## 1 制度の拡大・拡充など住民サービスの水準が向上した項目

### (住民生活分野)

- ・交通災害共済（旧鶴岡市の制度にしたことにより掛金の減額）

### (健康福祉分野)

- ・ヘルスアップモデル事業（旧鶴岡市の例を基本に全市に拡大）
- ・妊婦健康診査（妊婦健康診査受診券の給付対象年齢撤廃、給付枚数の増加）
- ・集団基本検診（免除対象者が旧鶴岡市の例により拡大）
- ・がん検診・人間ドック（対象者が旧鶴岡市の例により拡大）
- ・50歳総合検診（旧鶴岡市の事業を全市に拡大）
- ・レディース・メンズ検診（旧鶴岡市の事業を全市に拡大）
- ・病後児保育事業（旧鶴岡市の事業を全市に拡大）
- ・はり、きゅう、マッサージ等施術費助成（旧鶴岡市の事業を全市に拡大）
- ・福祉タクシー券助成（旧鶴岡市の基準により全市に拡大）

### (農林水産分野)

- ・グリーンツーリズム推進協議会・地産地消推進協議会の設立（全市的推進組織の設立）
- ・園芸展示圃設置委託（委託先にJAたがわ農協を追加）
- ・技術課題研究委託（旧町村地域の地域作物を追加）
- ・小学5年生用農業副読本（旧鶴岡市で実施の事業を全市に拡大）

### (商工分野)

- ・企業への金融支援（旧鶴岡市の例を基本に全市に拡大）

### (教育分野)

- ・学校教育支援員・教育相談員・スクールカウンセラー（専門職員配置の強化）

## 2 制度や住民負担などについて見直しを行った項目

### (健康福祉分野)

- ・重度障害者等介護者激励金（旧鶴岡市の例により廃止）
- ・電動三輪車購入助成（旧藤島町・旧朝日村の実施事業を廃止）
- ・家族介護用品支給（旧藤島町の実施事業を廃止）
- ・高齢者住宅整備に対する補助（旧温海町の実施事業を廃止）

### (農林水産分野)

- ・鶴岡市農業育成資金利子補給補助金（旧鶴岡市単独事業の廃止）
- ・畜産環境保全対策補助（旧櫛引町の実施事業を廃止）

### (下水道分野)

- ・下水道の使用料（旧町村地域の負担増）

### (教育分野)

- ・新入学児童ランドセル支給（旧藤島町・旧羽黒町・旧朝日村の実施事業を廃止）

## 3 検討の結果、従来どおりとした項目

### (健康福祉分野)

- ・各種健康教育、健康相談、訪問指導事業（旧市町村単位に従来どおり実施）
- ・自立支援型ホームヘルパー派遣事業（旧市町村単位に従来どおり実施）

(農林水産分野)

- ・融雪遅延対策事業 (櫛引、朝日、温海地域で継続)

(建設分野)

- ・克雪対策住宅建築補助制度、克雪対策生活道支援事業 (朝日地域で継続)

(教育分野)

- ・育英奨学金貸付等事業 (旧町村地域で継続)
- ・スクールバス運行管理事業 (現在の対象地域は、継続)

# 未調整事務事業一覧（53項目）

## 1 コミュニティ組織関係（24項目）

- ・町内会運営補助金交付事務
- ・行政事務委託料交付事務
- ・町内会連合会運営補助金交付事務
- ・町内会連合会研修補助金交付事務
- ・町内会長報酬等支給事務
- ・駐在員設置事業
- ・駐在員連絡協議会補助金交付事務
- ・コミュニティセンター管理委託事業
- ・郊外地域行政連絡業務委託事業
- ・コミュニティセンター施設整備事業
- ・街灯（防犯灯）新設補助事業
- ・街灯（防犯灯）新設事業
- ・街灯（防犯灯）補助金交付事務
- ・衛生業務交付金
- ・公民館連絡団体等の指導育成
- ・地域社会教育活動振興
- ・芸術文化協会
- ・民俗芸能支援活動
- ・地区公民館管理運営事業
- ・地区公民館運営委託事業
- ・地区公民館芸術文化事業
- ・自治公民館等
- ・各種スポーツ教室
- ・各種スポーツ行事・大会

## 2 都市計画税関係（2項目）

- ・都市計画税の税率
- ・都市計画税の課税区域

## 3 子育て関係（9項目）

- ・認可保育所（公立）管理運営事業
- ・延長保育促進事業（公立保育園）
- ・民間保育所への各種補助事業
- ・保育所施設整備事業補助
- ・保育料
- ・集団保育児童館

## 子育て関係(つづき)

- ・放課後児童対策事業
- ・留守家庭児童保育事業
- ・遺児扶養手当支給事業

## 4 国民健康保険関係（3項目）

- ・国民健康保険税の税率
- ・検診事業
- ・単独事業（福祉医療）

## 5 農林関係（2項目）

- ・畜産団体組織対策事業
- ・優良種導入事業

## 6 観光関係（3項目）

- ・観光キャンペーン事業
- ・各地区観光協会等
- ・鶴岡市観光連盟

## 7 都市計画関係（2項目）

- ・都市計画決定
- ・都市計画マスタープラン策定

## 8 上水道の料金関係（4項目）

- ・水道事業の料金体系
- ・水道料金
- ・水道料金の特例料金に関する事務
- ・水道加入金・手数料等

## 9 学校教育関係（1項目）

- ・就学時検診事業（コメディカル手当）

## 10 施設使用料関係（3項目）

- ・中央公民館管理運営事業（使用料等）
- ・体育施設使用料（料金体系）
- ・体育施設使用料の減免（基準・率）